

1. 件名：東海再処理施設の廃止措置計画に係る面談
2. 日時：令和3年9月24日(金)13時30分～16時00分
3. 場所：原子力規制庁10階会議室 ※一部出席者はTV会議にて実施
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

審査グループ 研究炉等審査部門

細野安全管理調査官、北條主任技術研究調査官、有吉上席安全審査官、

小舞管理官補佐、加藤原子力規制専門員

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

バックエンド統括本部 バックエンド推進部 次長

安全・核セキュリティ統括部 安全・核セキュリティ推進室 技術副主幹

再処理廃止措置技術開発センター 廃止措置推進室長 他10名

#### 5. 要旨

○国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（以下「原子力機構」という。）から、東海再処理施設の廃止措置に係る検討状況について、6. 配付資料（以下「今回配布資料」という。）および前回面談時（令和3年9月22日に実施）の配付資料（以下「前回配布資料」という。）に基づきがあった。

○原子力規制庁より、以下の通りコメントを伝えた。

（今回配付資料1について）

- ・安全対策に係る工事スケジュールの変更について、計画立案当初と現在における事情の変化と関連付けて変更理由を説明すること。

（今回配付資料2について）

- ・工程洗浄の実施において安全上留意すべき事項について、事業者としてどのように抽出し、評価をしているかを資料中で明確にすること。

（前回配付資料5及び同資料6について）

- ・これまでの廃止措置計画変更認可申請において示している火災防護対策の基本方針が、詳細設計において確実に反映されていることを、対比表等を用いて示すこと。資料7及び資料8の内部溢水対策においても同様。

（前回配付資料7及び同資料8について）

- ・蒸気影響対策として新たに設置するとしたターミナルエンドカバーについて、配管の耐震性に影響を与えないことを確認している旨明確に示すこと。
- ・高放射性廃液貯蔵場（HAW）について、耐震補強を実施するとしている配管の耐震性確認結果を示すこと。

○原子力機構より、了承した旨返答があった。

## 6. 配付資料

(今回配付資料)

- 資料 1 東海再処理施設の安全対策の実施に係る全体スケジュールについて
- 資料 2 工程洗浄の方法について
- 資料 3 再処理施設の廃止措置計画(安全対策)の変更に伴う保安規定の変更について
- 資料 4 東海再処理施設の安全対策に係る面談スケジュール(案)

(前回配付資料(令和3年9月22日面談資料))

- 資料 1 工程洗浄において環境へ放出される放射性廃棄物及び放出に対する取り組みについて
- 資料 2 クリプトン回収技術開発施設 液体窒素貯槽の津波漂流物対策について
- 資料 3 低放射性廃棄物処理技術開発施設(LWTF)の運転に向けた今後の対応について
- 資料 4 ガラス固化技術開発施設(TVF)ガラス固化技術開発等の浸水防止扉の耐津波補強工事
- 資料 5 ガラス固化技術開発施設(TVF)の火災防護対策に係る設備の設置
- 資料 6 高放射性廃液貯蔵場(HAW)の火災防護対策に係る設備の設置
- 資料 7 ガラス固化技術開発施設(TVF)の内部溢水対策に係る設備の設置
- 資料 8 高放射性廃液貯蔵場(HAW)の内部溢水対策に係る設備の設置
- 資料 9 東海再処理施設の安全対策に係る面談スケジュール(案)